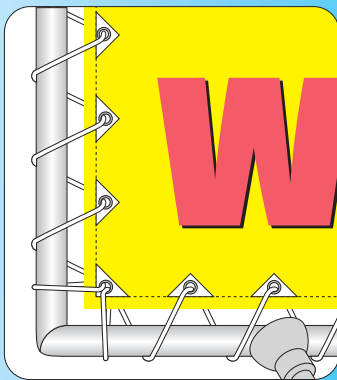


懸垂幕・横断幕・吊幕・店頭幕・案内幕・内照幕～ 幕

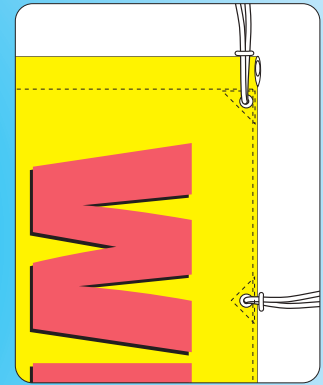
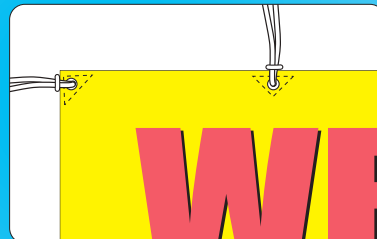
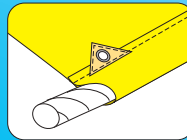
屋外の「懸垂幕」は、通行する人や車に告知と導入の大きな効果があります。
「案内幕」は、売場への案内機能や催事の予告などの情報を提供します。



掲示には風対策や損傷防止の面から、アングル等の掲示装置を使うのがベストです。



掲示装置のない場所に取り付ける場合は、製品の四方を鳩目・ロープなどで耐風強度の加工をして、しっかりと安定した場所に設置する必要があります。更に風を貫通させるための風穴も安全のため有効です。



大きさを検討するときは素材の巾を考慮し、幾巾かのはぎ合わせにより目的の大きさに加工します。
長さ方向のサイズは素材の限界まである程度自由ですが、シルク印刷の場合は型の大きさを参考にします。
印刷方法：シルク印刷／カッティングシート貼り／刷り込み／インクジェットプリント／他
素 材：天竺／葛城／トロピカル／トロマット／ターポリン／不織布／他

インクジェットによる描画

フルカラーの画像を製版なしで印刷する事が可能です。最近素材が豊富で、布素材、ターポリン、メッシュの素材、透明なものなど、用途に応じて各種選べる品揃えです。プリンターも事務所に置ける汎用サイズから、大きいものでは5m巾を一度に印刷出来るものまで揃っています。さらに今後、新機種の登場が予想されますので、品質の向上はもちろん、大型幕として以外の用途でも、需要が期待されています。色校正が簡易になり、製版に当てられていた納期が短縮されて、品質の向上が見込める今は、製品に望むものというより「どのような使い方」という事が模索される時代と言えます。

